

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	28
支出年月日	2023年 9月 4日
項目 (該当項目に〇をつけてください)	☐ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 広報費 ☐ 広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☒ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
充当内容 (按分の計算方法)	2024年度 予算編成に対する要請書 60部 印刷費 ￥5,790-
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けしないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

領 収 書

2023年09月04日

日本共産党芦屋市議会議員団 御中 川島あゆみ 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック
〒617-0003
京都府向日市森本町野田3-1
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890



お支払条件	クレジットカード	納品場所	ご指定場所
御請求金額	5,790円（税込）	納品期日	4営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
	品名：2024年度予算要求書 A4 / 両面スミ1色 / 上質紙70 / 30P / 60部 / 加工1：無線綴じ製本 加工2：	1	5,790	5,790
合 計				5,790

特記事項
※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていますが、
印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。
※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

28-1

2024 年度予算編成に対する 要求書

2023 年 9 月

日本共産党芦屋市議会議員団

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	29
支出年月日	2023年 9 月 4 日
項目 (該当項目に○をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）	
充当内容 (按分の計算方法)	コピー機 リース代 $¥18,480 \times 0.9 = ¥16,632$
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

発行日 2023年09月07日
領収証番号 [REDACTED]
リコーリース株式会
登録番号 T7010601037788
東京都千代田区紀尾井町4-1

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済

領 収 証

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
下記金額を正に領収させていただきましたこと、お知らせ申し上げます。

領 収 日	2023年 9月 4日
領 収 額	18,480 円

お 支 払 方 法	口座振替
振 替 口 座	[REDACTED] 口座番号の下3桁は、お客様情報保護のため「***」と表示しています。 ニホンキョウサントウアジャシキ「カイギ」インタン

領収明細書

契 約 番 号	請 求 期 間	回 数	金 額	消 費 税 等	税 率
[REDACTED]	23. 9. 1~23. 9. 30	29	16800	1680	10

続きは裏面をご覧ください。

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	30				
支出年月日	2023年 9月 26日				
項目 (該当項目に〇をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）					
充当内容 (按分の計算方法)	オンライン講座 (11/11) 参加費 ¥1,100 - 「包括的性教育」				
その他	「国際的は潮流と日本における展望」				

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けしないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

領収データ - 【2023連続講座 第6回】 染矢明日香さん「包括的性教育 ー国際的な潮流と日本における展望」

発行日 2023年9月26日

宛名 日本共産党芦屋市議会議員団

合計 ￥1,100

但し 受講料

注文日 2023年9月25日

注文番号 22591750

主催者 記念会（（公財）市川房枝記念会女性と政治センター）

イベント名 【2023連続講座 第6回】 染矢明日香さん「包括的性教育 ー国際的な潮流と日本における展望」



印刷する

検索モード

⑨ 2/10 (土) 三宅弘さん
(弁護士・獨協大学特任教授)

情報公開と個人情報保護 ——デジタル社会に民主主義を——

●日本の情報公開制度における知る権利の生成・展開と課題。同制度の生成から生まれた個人情報保護法と課題。個人情報保護法の生成・展開と課題。それをふまえたデジタル社会における自己情報コントロール権の展開。森友問題や桜を見る会にかかる情報公開請求不存決定を克服するための、公文書管理制の展開。これらを通じて、日本の民主主義は、どこを向いて進んでいくべきか、知る権利やプライバシー権を憲法条項に明記する必要があるのか、などにも論議します。

プロフィール 情報公開法を求める市民運動運営委員、内閣府・高度情報通信社会個人情報保護検討部会委員、総務省・情報公開法の制度運用に関する検討会委員、公文書管理委員会委員長代理などを歴任。著書に『知る権利と情報公開の憲法政論』(日本評論社、2021年)など多数。

⑩ 3/9 (日) 甲斐田万智子さん
(文京学院大学教員、NPO法人国際子ども権利センター代表)

子どもが権利の主体として活躍する社会に ——子ども権利法と子ども家庭庁を——

●日本は1994年に国連子どもの権利条約を批准しているが、子どもを権利の主体として認めてきませんでした。その結果、子どもの声を無視したまま、子どもが直面する問題一児童虐待、体罰、いじめ、性暴力などは深刻化しました。2023年4月に子ども基本法が制定され、社会で子どもの声を聞いていくことが定められました。法律をもとに子どもがSOSを発し、おとなと共に取り組んでいくようにするにはどうしたらいいか考えます。

プロフィール 認定NPO法人国際子ども権利センター(シーライツ)代表理事。文京学院大学教授。広げよう!子どもの権利条約キャンペーン共同代表。子どもの権利条約総合研究所運営委員。監修『さみがきみらしく生きるための子どもの権利』(KADOKAWA、2023年)



知事選の投票方法

- 画面に参加者のお名前や顔、声が出ることはありません。パソコンにカメラ、マイク機能がなくともご覧頂けます。
- パソコンやタブレット/スマートフォン、インターネット回線が必要です。
- Zoomの使用・操作方法について、主催者はサポートいたします。
- 参加者のインターネット環境により、通信が不安定になったり、それを起因とした音声・映像などの不具合が発生する可能性があります。予めご了承ください。
- メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください。それでも届かない場合は登録メールアドレスが間違っている可能性があります。お手数ですが再度お申込みをお願いいたします。
- 講師の都合等により変更がある場合はご了承ください。

お申し込み時の注意事項

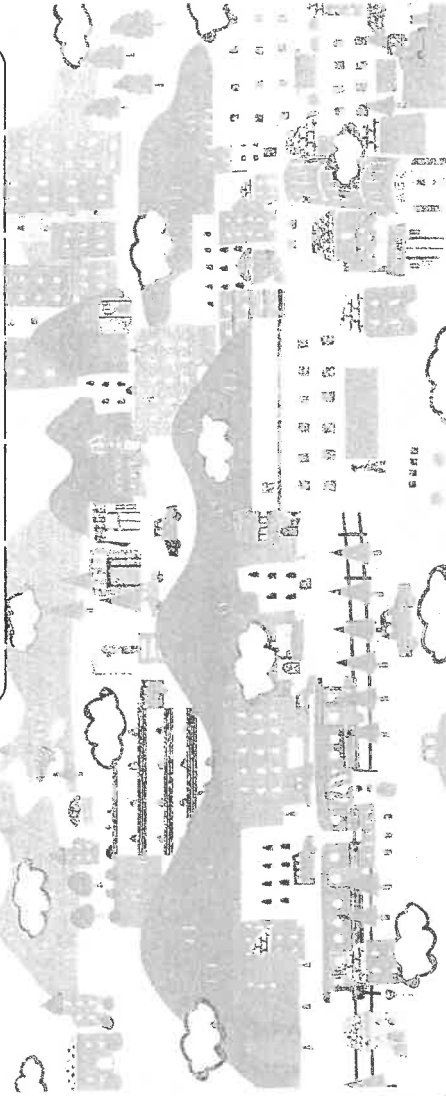
- 本講座はイベントサイトPeatixを使用のため、参加費は必ずPeatixにお支払いください。(窓口でのお支払いは会場参加者のみです)
- zoomの表示名は必ずお申し込みのお名前、メールアドレスでご参加ください。本人確認ができない場合はご視聴いただけません。
- 振込手数料は、視聴参加者のご負担となります。
- 一旦お申し込みが完了(支払済)された場合には、ご視聴されなくても返金あるいは別の回への振替はできません。
- 各回の申し込みは当日の11:30までとさせていただきます。それ以降にお申し込みの場合は、手続きの関係上、ご視聴いただけない恐れがございます。
- 複数人でご視聴いただく場合は必ず、お1人1枚のチケットをお申込みいただきますようお願い申し上げます。
- 配布資料については、再配布、再利用、転送、転載はなさないでください。
- 複数回分をまとめてお申込みいただくことはできません。

後日配信はいたしません

2023 選挙講座 “政治”を揺るがす電

一次世代へ希望のボタンをつなぐために

先の見通せない政治に不安と不満が溢れる社会... 私たちが「自分ごと」として、課題に取り組みやすい政治を実現したい。私たちの痛みをもっと分かる議員をもっと増やしたい。女性議員を増やす必要性が言われて久しいのに、その歩みが遅すぎる日本。一緒に学び、政治を揺るがす一歩を踏み出すための講座です。多くの方のご参加をお待ちしています。



2023 5/13 (日) 付 2024 3/9 (土) 第2土曜(全10回) 13:30~15:30

形式 オンライン (zoomウェビナー)

定員 50名 (要予約)

参加費 全10回 10,000円 1回毎 1,100円

クレジットカード・コンビニ・ATM(ペイジー)・paypal支払可

お申し込み

今年度よりお申し込みの際には、市川房枝記念会ホームページから、イベントサイト (Peatix) を、ご利用いただきます。



市川房枝記念会 連絡講座特設ページ
<https://www.chikawa-fusae.or.jp/2023/enoku/>

※オンライン環境環境にない方に限り、当会館での視聴をさせていただきます。参加費1,650円(税込、定員まで先着順)

主催：(公財) 市川房枝記念会女性と政治センター

E-mail: futikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp

TEL: 03-3370-0238 / FAX: 03-5388-4633 / 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦連会館

5/13

門間尚子さん
(特定非営利活動法

NPPO/ボランティア団体など社会課題に
取り組む団体におけるハラスメントの予
対応に向けた取り組みについて

講師 山本 隆之 暴力の被害に遭った方々の対応を行う中で、全国のNPO/ボランティア団体と活動者から、ハラスメントの相談を受けてきました。被害に遭われた方が志半ばで活動を去らざるを得なくなることや、団体が地域の信頼を失い活動停止や解散も考えなくてはならない、という事態も少なくありません。講座では、NPO/ボランティア団体におけるハラスメントの予防と対応に向けた当法人の取り組みをお伝えしながら、みなさまと一緒にハラスメントについて考えて参ります。



アサヒ 大学卒業後、2000年よりボランティアとして、DV・性暴力被害者・ひとり親世帯・女子少年院出院者・生きづらさを抱える子どもたちを応援中。2021年に市川陽枝女性政治参画基金の助成を受け、NPO等における対応としくみづくりに力を入れている。

② 6/10

井田奈穂さん
(選択的夫婦別姓・全

ジェンダー平等を阻むバックラッシュ

ここまで世論が賛成に傾いているが、なぜ選択的夫婦別姓は法制化されないのか。多くの人が疑問に思っているのではないだろうか。議員の陳情を通じて見えた反対議員の弾圧、宗教思想団体と政治の癒着構造を解説します。同時に、非婚・少子化が進む日本において「結婚」そのものの価値を問い直す若年層の動きについても着目し、今求められるジェンダー平等のあり方を、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。



【経歴】 1975年生まれ。再婚で人生2度目の改姓を経験したことをきっかけに2018年、選択的夫婦別姓の法改正を求める当事者団体を創設。約800人のメンバー登録者と地方議会、国会へ働きかけている。

(30)

平澤明彦さん
(株式会社農林中金)

日本の食料安全保障と農業政策

食料安全保障が注目されています。日本は食料の輸入依存度が高く、買い負けなど経済的地位が低下するにつれて、将来にわたる安定供給の確保に懸念が増えています。しかも、国内では離農が進んで耕作放棄が増え、最低限の食料生産が難しくなりつつあります。このような状況になった背景には、日本の土地資源の制約と戦後の農業政策があります。海外情勢も踏まえて、あるべき姿を考えます。



著者 丸 山 修
東京大学大学院農学系研究所
修士課程修了、東京大学大学院博士(農学)。
研究分野は欧米の農業政策、食料安全保障
政策など。日本の食料安全保障について一基
本的な論点と課題①(2022年)など著作多数。

9/9 (±)

吉良智子さん
(日本女子大学家政)

ジェンダー視点から学ぶ日本女性史
——戦争と女性画家たち

『美術家たち』 美術は政治や社会とは無縁の世界だといふ考え方は根強くあります。しかし、むしろ美術は権力とともにあるのが常です。特にアジア・太平洋戦争期に美術家たちは、作品でもって国民を鼓舞し慰めました。実は女性美術家も無縁ではありません。本講座では男性優位の美術界で彼女たちが何に直面し、どのように制作してきたのか、実際にスライドで作品を見ながら一緒に考えていきたいと思います。現代社会とも共通する問題や観点がきつと見つかるはずですよ。



05/10/14

山岸素子さん
(NPO法人移住者と連帯)

外国人移住者と地域社会
—移住女性の視点から—

講師 高木 孝一 日本にはすでに400万人を超える外国にルーツを持つ人々が暮らしています。そのうちのおよそ半数は女性ですが、移住女性性は、外国籍であることと女性であることの複合的な差別や暴力に苦しんできました。一方で、地域で暮らす移住女性たちの権利と尊厳の回復を求める運動が、政策に変化をもたらしてきた側面もあります。日本に暮らす移住女性の現状と課題、権利を求める取り組みについてお話します。



「アフリカ」上 NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク事務局長、カラカサンへ移住女性のためのエンパワメントセンター共同代表、立教大学・明治学院大学非常勤講師などを兼任。長年にわたり、地域での移住女性支援、兼任女性を中心とした調査・アドボカシー活動などにかかわる。

11/11

染矢明日香さん
(NPO法人ビルコン理事)

包括的性教育 ——国際的な潮流と日本における展望

「包摂的性教育は、性を生殖・性交のことだけでなく、人権教育を基盤に人間関係を含む幅広い内容を体系的に学ぶ教育です。科学的な根拠と人権尊重に基づき、子ども若者たちをエンパワーするものとして広がってきました。今回、国際的な包摂的性教育のガイディング「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」をご紹介しますが、日本における性教育や性についての課題、また包摂的性教育を日本で広げていく展望について皆さんと考えていきたいと思っています。



中高生や保護者、教育関係者
向けの性教育講座や情報発信、政策提言の
活動を行う。公認心理師、思春期健康相談
士。著書に『マンガでわかる オトコの子
の「性」』（合同出版、2015年）『はじめての
性のだいじこころからかるた』（合同出版、2022年）。

(四)

桃井貴子さん
(NPO法人気候ネット)

気候危機への対応と
日本に求められていること

調剤師めい 今、地球規模での気候変動が大変深刻な状況になっています。この原因は私たち人間活動の中で排出される二酸化炭素など温室効果ガスです。危険な気候を回避するためには、社会システムを大胆に変革し、温室効果ガスの排出をこの10年で大幅に削減することが求められています。私たち一人ひとりが自分ごととしてとらえ、社会をどう変えていく必要があるのか、日本で今何が一番問題になっているのか、セミナーを通じて皆さんと共有したいと思っています。



市民活動をはじめ、約30年。原発もない、温暖化もない持続可能な未来をめざし、政策提言や市民啓発など幅広く活動を展開している。現在は、日本の石炭火力発電所を2030年までにゼロにすること、「Japan Beyond Coal」などの運営に携わる。

08

西野博之さん

安心できる子どもの居場所づくり

【読書】『いのちの炎を再び輝かせるには、まずは たったひとりとした「子どもの時間」を取り戻すこと。おとなが 決めたカリキュラムを押し付けるのではなく、自分が何を したいのか。どう生きたいのかに迷いながら揺れ動く子ども の「いのち」に寄りそうこと。いま目の前の子どもたちの「ま まま」をしかりと受け止めることの大切さを、子どもたちが から教わりませう。『生まれてくれてありがとう』『あなたがあ りてくれて、幸せだよ』このメッセージをしかりと子ども たちに届けたい。子どもたちの「いのち」を真ん中に、「子ども たちの利益は何か」を問い続けながら、これからも「だ いじょうぶなタネ」をまいていきたいと思います。



政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	31
支出年月日	2023年 9月 27日
項目 (該当項目に〇をつけてください)	☐ 調査研究費 ☒ 研修費 ☐ 広報費 ☐ 広聴費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務所費
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）	
充当内容 (按分の計算方法)	全国フェミニスト議員連盟 第12回 女性議員 パワーアップ集中講座 ￥5,000
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けしないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

領収データ - 第12回女性議員パワーアップ集中講座

発行日	2023年9月27日
宛名	日本共産党芦屋市議会議員団
合計	¥5,000
但し	受講料
注文日	2023年9月27日
注文番号	22615657
主催者	まき けいこ (全国フェミニスト議員連盟)
イベント名	第12回女性議員パワーアップ集中講座



印刷する

領収書印刷

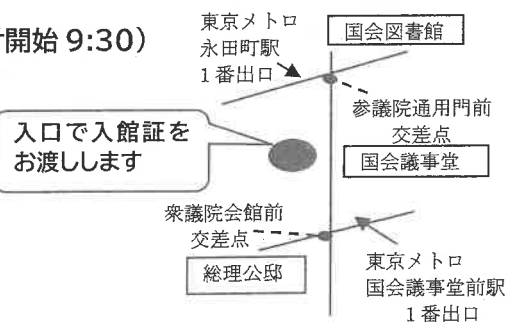
第12回 女性議員パワーアップ集中講座

今年は秋に開催、オンライン併用です。参加には、申込みと参加費の事前振込が必要です。

【日時】2023年10月23日(月) 10:00~17:00(受付開始 9:30)

【会場(予定)】衆議院第二議員会館 1階 多目的会議室
(定員 141名)

【参加費】会 員:議員 3,000 円 (町村議員 2,000 円)
市民 1,000 円
非会員:議員 5,000 円 市民 1,500 円
＜オンライン参加・部分参加も同額です＞



【お申込み】10月18日(水)まで

携帯なら
こちらから



パソコンからのお申込みなら

<https://peatix.com/event/3686510/view>

会場参加の方も事前の申し込みと peatix での支払いをお願いします

お問い合わせ先: info17@afer-fem.org

《プログラム》

10:00~12:00 講座Ⅰ LGBT 理解増進法の行方～自治体議員に求められる見識～

講師: 一般社団法人 LGBT 法連合会代表理事/
大手前大学国際看護学部教授 藤井ひろみさん
全国フェミニスト議員連盟会員 依田花蓮さん

12:00~13:00 休憩(昼食) 議員会館の食堂・コンビニなどをご利用ください

13:00~14:45 講座Ⅱ どうなる介護保険制度-その課題と問題点

講師: 市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰 小竹雅子さん
ホームヘルパー国賠訴訟原告 伊藤みどりさん

15:00~16:45 講座Ⅲ 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律

～自治体はどう取組んでいくか～

講師: お茶の水女子大学名誉教授 戒能民江さん
婦人保護施設慈愛寮元施設長/
一般社団法人Colabo理事 細金和子さん

問い合わせ先 info17@afer-fem.org

全国フェミニスト議員連盟 事務局

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	32				
支出年月日	2023年 9月 27日				
項目 (該当項目に〇をつけてください)	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）					
1205.09.27 4,900 \$MBC(コウヘンシツ) ¥4,900 - 金額確認済					
充当内容 (按分の計算方法)	神戸新聞 9月分				
	¥4,900 -				
その他					

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。